

理工学研究科

修士の学位申請に関する手続き及び審査体制・基準等について

1 修士の学位

修士課程または博士課程前期課程に所定の期間在学し、当該研究科所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた後、当該課程の目的に応じ、修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格した者は、その課程を修了したものとされ、修士の学位が授与されます(大学院学則第24条、第26条)。

2 修士論文審査体制・方法

(1) 審査体制

修士論文または特定の課題についての研究成果の審査は、研究科委員会の定める審査委員によって行います。

審査委員は、当該修士論文に関連ある研究領域の教員3名以上とし、主査を1名、副査を2名以上とします。ただし、特別の事情がある場合には副査を1名とすることがあります。

(2) 審査方法

① 最終試験

修士の学位に関する最終試験は、修士論文または特定の課題についての研究成果の提出者の研究成果を確認する目的をもって、審査委員が修士論文を中心とし、試問の方法によって行います。試問は、口頭によりますが、筆答試問を併せ行うことがあります。

② 審査期間

修士論文の審査及び最終試験は、当該修士論文の提出期限後3カ月以内に終了します。

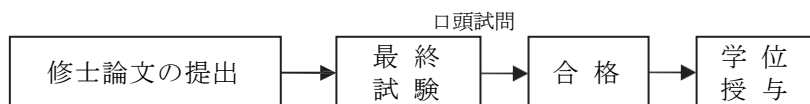
③ 審査結果

修士論文または特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験の結果は、研究科委員会の承認を得て決定します。

3 修士論文審査基準

- (1) 修士の学位を受ける者は、広い視野に立った学識を備え、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な能力を有すること。
- (2) 修士論文は、当該専攻分野に関する学術的価値を有する研究結果を含むか、または当該専攻分野における研究の遂行に必要な基礎知識・理解力・問題解決能力等を示す考察を含み、論理的かつ明瞭に記述されていること。論文に含まれる研究結果が複数の研究者の共同による場合は、学位を受ける者の貢献が有意に認められること。
- (3) 修士論文に記述された内容については、各専攻分野の修士研究発表会において学術研究に相応しい発表及び討論がなされること。なお、原則として修士研究発表会は公開とする。

4 学位授与までの主な流れ



5 スケジュール

詳細な日程は、別紙「提出要領」を参照してください。

期 限 (期 日)		
事項	3 月期学位授与	9 月期学位授与
計画書の提出	—	—
論文の提出	2 月中旬	7 月中旬～下旬
最終試験	2 月中旬～下旬	7 月下旬～9 月上旬

※提出期限は厳守すること。提出期限後はいかなる理由があっても受理しません。

6 修士論文提出要件

修士論文は、学位規程第9条に基づき、博士課程前期課程に1年以上在学し、所定の授業科目のうち、20単位以上を修得した後、研究科委員会の定める下記の要件を満たした後でなければ、提出することができません。

【外国語の学力に関する認定】

- (1) 外国語科目数
1カ国語(英語)
- (2) 外国語学力確認方法
原則として筆記試験（各分野において適宜実施）
- (3) 外国語学力認定免除の要件・方法
前期課程入学試験をもって、外国語の学力認定に代えることができる（ただし、その適用については各分野の判断によるものとする）。